

# 平成 20 年度宮前区区民会議

## 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会(第 3 回)

平成 20 年 9 月 22 日(月) 18 時～20 時

宮前保健所集団教育ホール

### 次 第

#### 開 会

#### 1 議 事

( 1 ) 宮前区の宝・顔に関する現状と取組について

( 2 ) 宝や顔があるまちのイメージについて

#### 2 その他

#### 閉 会

配布資料

資料 議論ペーパー

目指すべき方向性

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める。観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを探すことも重要だが、あるものを利用することで新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がどんなところかアピールするものがない。
- ・宮前区は緑がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。

宮前区の宝・顔に関する現状と取組

◆地域資源（宝もの）に関する現状

歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。

区内の資源を総括的にまとめたわかりやすい資料が無い。

観光協会が発足したが、本格的な活動に至っていない。

目に見える宝のほか、目に見えない宝（風土）もあるのではないか

◆宮前区に対する内外のイメージ

閑静で自然豊かな良好な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。

区のイメージで「とくにない」の回答した区民の割合が市内7区で最も多い（H15、市民1万人アンケート）。

「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないか。

◆その他 宮前区をめぐる現状

宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が概ねその境となっている。  
→宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？

元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。

メディア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

宝や顔があるまちのイメージ

◆区民一人ひとりにとって・・・

[Blank box for individual citizen perspective]



◆地域社会にとって・・・

[Blank box for community perspective]

解決すべき課題とその原因

具体的な課題解決策

[Large blank area for specific problem-solving strategies]